

奈 ま 企 第 7 3 号

平成20年10月 7日

国土交通省道路局長 様

奈井江町長 北 良



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあったこのことについて、別紙のとおり意見を提出いたしますので、よろしくお願いいたします。

【担当】

奈井江町役場 まちづくり課企画広報係

TEL (0125) -65-2112

FAX (0125) -65-2809

E-mail soumu@town.naie.hokkaido.jp

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

北海道奈井江町

- ・広域分散型社会を形成する北海道の地域性を考慮し、人口減少下にあっても、一次産業の振興や内陸型工業の発展に向けた支援が必要
- ・ストック活用の観点から、補助事業により整備された道路の二次改修に対する財政支援など、無駄を省いた生活及び広域道路等の整備促進が必要
- ・住民の快適な生活空間の確保及び住民ニーズへの迅速な対応が必要とされていることから、冬期間における除排雪などの地域協働型による道道、市町村道の維持管理の推進が必要

②-1 地域の現状と抱える課題

北海道奈井江町

○現状

1. 広域分散型地域を形成し、自動車交通への依存度が高い空知地域において、主要都市、空港、港湾などの人や物流の拠点とのアクセスは、一般道の利用か、高速道路使用の場合は札幌経由となり、札幌圏と比較し、時間的なロスが大きく、輸送コストも割高となっている。
2. 冬期間において、吹雪等により高速道路の通行止が頻繁に行なわれるため、一般道に交通障害が発生し、人の移動や物流に支障をきたしている。
3. 中空知地域においては、消防、医療をはじめとした自治体間連携が進められており、地域間を結ぶ道路網について、住民ニーズに的確に対応可能な管理体制が求められている。

○課題

1. 内陸型の企業誘致、空知の農産物の販路拡大、空知地域への観光客誘致を推進するためには、人や物流の拠点である千歳空港、苫小牧港とのアクセス強化（輸送、移動時間の短縮）が必要とされている。
2. 冬期間における高速道路の通行確保に向けた、地吹雪対策の強化が必要とされている。
3. 国道、道道、市町村道それぞれの道路管理者が連携した除排雪体制の整備が必要となるほか、道道の維持管理の権限委譲と、それに伴う明確な財源措置が必要とされている。

②－２ 地域の目指すべき将来像

北海道奈井江町

北海道の経済は、基幹産業である農業及び近年集積された自動車関連産業などに支えられているが、近年の景気経済の低迷、国際化の進展、少子高齢化、高度情報化などの時代の変化の中で、広域分散型の住みよい地域を守っていかなければならない。

そのうえで、道路の果す役割は今後も大きい。

《主な施策》

- ・ 空知産農産物の販路拡大を推進するとともに、日本の食糧供給基地としての位置づけを確立する。
- ・ 企業誘致の推進と立地企業への支援体制の充実を図る。
- ・ 個性的で魅力的な観光資源の整備と広域的連携による活性化を図り、グローバルな観光客誘致を促進する。
- ・ 地域医療機関が連携した医療の体系的なネットワークを形成し、適正な医療分担と効率的な医療体制の充実を図る。

上記施策を展開するにあたり、当地域と人や物流拠点とのアクセス強化及び当地域内の道路ネットワークの充実を図ることが重要であるため、主要な基盤整備として、高規格幹線道路、地域高規格幹線道路の整備促進と、これらと一体となった道路網の整備促進が必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

北海道奈井江町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	空知地域と千歳空港、苫小牧港を結ぶ高規格道路整備	効果：空知産農産物の販路拡大 内陸型の企業誘致の促進 立地企業への支援（輸送コスト削減） 観光客誘致の促進 評価：農業産出額 進出企業数 工業出荷額、雇用者数 観光客入込数	
水害（雪害）等の災害に強い国土づくり	国道、道道、市町村道それぞれの道路管理者が連携した除排雪体制の整備	効果：冬期間の道路交通ネットワークの確保 評価：通行止日数（時間） 除排雪出動日数（時間）	
計画的・効率的な維持管理や更新の推進	地域協働型による道道、市町村道の維持管理の推進 財源を伴う道道の権限委譲	効果：一括管理によるコスト削減 評価：道路管理者別による差の解消	